



社会福祉法人 松原愛育会

医療型障害児施設・療養介護事業所

石川療育センター

〒920-1146

金沢市上中町イ67番2

TEL (076) 229-3033

FAX (076) 229-3043

<https://m-aiiku.jp/center/>

2026年10月19日

発行

院長就任のご挨拶

院長 伊藤 和子

このたび、院長職を拝命いたしました。日頃より当センターをご利用いただいている皆様、ご家族の皆様、関係機関の皆様、そして日々支えてくださっている職員の皆様に感謝申し上げます。

当センターは、医療型障害児施設・療養介護事業所として利用者の生活を支える一方、地域貢献の一環として発達障がい児の外来診療及び児童発達支援サービス・生活介護サービス・各種相談事業を行っております。利用者ひとりひとりの人生に丁寧に関わり添うことが当院の

大きな特徴であり、私たちが大切にしてきた使命でもあります。

現在、入所部門では利用者の高齢化が進み、長年暮らしてこられた方々が安心して生活を続けられるよう、医療・看護・介護のさらなる充実が求められています。一方で医療的ケアを必要とする乳幼児の入所も見られ、発達段階や生活背景の異なる利用者への支援が必要となつていきます。それぞれにふさわしい医療と生活支援を提供することが私たちに課せられた大切な責任であり、安心して楽しく快

適に暮らせる生活の場を提供するため、皆でアイデアを出しあい、改善を重ねてまいります。

また、発達外来を受診される方は年々増加しており、ご本人やご家族を取り巻く課題も多様化しています。当院では医師をはじめ、言語聴覚士・作業療法士・心理士・ポーター指導員など多職種が連携し、それぞれの専門性を生かしながらお子さまとご家族を支える体制づくりを進めています。近年では、ペアレントトレーニングやPCIT(親子相互交流面接療法)も取り入れ、多様なニーズに応えられるよう取り組みを進めています。

ご家族の気持ちに寄り添い、お子さまの成長を共に喜びあえる存在でありたいと考えています。

児童発達支援センターや相談部門には、あらゆる年代からの相談が寄せられています。職員は利用者やご家族の声にしっかりと耳を傾けるだけでなく、研修等で研鑽を重ね、時には他部署の知恵を借りることで柔軟な判断力を身に

付けてきています。

今後は、さらに地域の医療機関や保育園・幼稚園・学校・各市町村の発達相談窓口や教育機関、福祉施設との連携を一層深め、ライフステージに応じた支援が途切れることなく続く地域づくりに貢献してまいります。

院長として大切にしたいのは、上記のように当センターが利用者ごとご家族に信頼される施設であること、そして職員が誇りとやりがいを持って働ける職場であることです。栄養管理や環境衛生・多様な事務手続きなどにも多くの職員の協力が必須です。すべての職種が互いを尊重し力を合わせることで、より質の高い支援が実現します。加えて、時代の変化に合わせて業務改善や情報共有にも取り組み、利用者に向き合う時間をより充実させられる環境づくりを進めてまいります。

私たちは、地域の皆様にとって困った時に安心して相談できる存在であり続けたいと願っています。子どもたちの未来を支え、障がいのある方々が安心して生活を送り、ご家族が希望を持って歩んでいけるよう職員一同力を合わせて努力してまいります。今後ともご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願いします。



入所活動紹介

入所利用者の、最近の活動や外出の様子を一部ご紹介します。

大乗寺丘陵公園



4月の晴れやかな日、大乗寺丘陵公園を訪れ、一面に広がる鮮やかな花々や木々を女子2人組でゆっくりと満喫しました。ポカポカとした春の陽気に誘われて、思わず笑みがこぼれました。豊かな自然の美しさに圧倒され、全身で春の息吹を感じる充実した一日となりました。

買い物外出



8月、杜の里イオンへ外出し、買い物と間食を楽しみました。賑やかなフードコートで冷たいアイスにかじりつき、とても幸せそうでした。暑い夏を吹き飛ばす勢いで外出を楽しんでいました。

ミュージックケア



月に1回、ボランティアの方に来ていただきミュージックケア活動を行っています。歌う・聴く・リズムを感じる・軽く体を動かすなど、誰でも参加しやすい働きかけを中心に行います。心地良い音楽に自然と笑顔があふれています。

プール



中庭にてプール遊びを行いました。暑さの厳しい中でしたが、冷たいプールに入ると最初は驚いた表情を見せつつも、慣れるにつれて心地よさを感じ、声を上げて楽しそうに遊んでいました。移動の負担が少ない中庭を活用することで、日常の中で季節の楽しみを存分に味わえる活動となりました。

利用者が心から楽しむ顔が見られることを願い、私たち職員も大いに楽しみつ、これからも充実した内容の外出や活動を提供していきたいと思ひます。外出・活動の様子は、石川療育センターのInstagramにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

シェイクアウト いしかわ

令和8年7月9日、県民一斉防災訓練「シェイクアウトいしかわ」を実施しました。大地震が起きた際のとっさの行動を、改めて見直す良いきっかけとなりました。



移乗器具の説明

昨年度、入所に移乗用リフトと蛇腹型スライディングボードを導入しました。これまで、ベッドと車いすなどの移動は2人体制で息を合わせて持ち上げる必要があり、スタッフの腰痛リスクや、身体が浮くことによる利用者の緊張・不安など、双方に負担がありました。新しい支援機器の導入により、身体を無理に浮かせず、安心・安全な「お互いに負担の少ない介護」が実現しています。また、それぞれ仕組みが異なるため、現場での使い分けが安全性向上につながっています。

移乗用リフト

利用者の身体をスリングでしっかり支え、電動でゆっくりと持ち上げて移動させる機器です。ベッドと車いすの高さが大きく違う場面でも安定して移乗でき、座位保持が難しい方や重度の方にも安心して使えます。

介助者が抱え上げる必要がないため、腰痛予防にも大きく貢献しています。



蛇腹型スライディングボード

アコーディオンのように伸び縮みする柔軟な構造が特徴です。ベッドや車いすの角度に合わせて形が変わり、利用者の身体を横方向に滑らせるだけで移乗できます。

持ち上げる動作がないため、利用者の負担が少なく、皮膚トラブルや転落リスクの軽減にもつながっています。



どちらも安全性と介助負担の軽減を目的とした機器ですが、リフトは「吊り上げて移動する場面」、蛇腹ボードは「横方向に滑らせる場面」に適しています。利用者の状態や環境に合わせて選ぶことで、お互いにより安楽で安全な移乗が行えています。

ほのぼの日記

ある休日のOさんのエピソード



その日の午前中は面会時間で、Oさんのご家族が来院されていました。ご家族と過ごす日は、いつも大好きな甘いスイーツやジュースを堪能し、Oさんの顔には絶えず笑顔が咲きます。

Oさんは視覚に障害があり、言葉でのコミュニケーションも少し難しい方です。しかし、楽しいことや嬉しいことには声を出して笑い、困ったことや不安なことには眉間に皺を寄せるなど、感情表現はとても豊かです。リラックスしている時もあれば、両手足を活発に動かす時もあり、自分の気持ちを豊かな表情や仕草でまっすぐに伝えてくれます。

面会時間が終わり、ご家族も帰られたお昼頃のことでした。昼食をぺろりと完食したあと、デザートに、ご家族がOさんのためにと持参してくださったプリンを準備しました。食べる前に、「Oさん、お母さんが持ってきてくれたプリンですよ」と声をかけると、今まで黙々と味わっていたOさんが、急に「ケラケラ」と声を上げて笑い出したのです。まるで「お母さん、ありがとう！おいしいよ！」と心の中で話しかけているかのように、満面の笑みで、それはもう満足そうにプリンを召し上がるOさんでした。「きっと今、すごく幸せなんだろうな」その姿を見ているだけで、こちらまで胸がジーンとあたたかくなり、Oさんの幸せなひと時を一緒に過ごせたことが何よりも嬉しく思えました。

施設には、感情表現豊かな方、おしゃべり上手な方、物静かな方など、個性豊かな利用者さんたちが暮らしています。日々の何気ない瞬間に、その人の思いや幸せに触れた時、私も同じように、あたたかな幸せな気持ちで満たされるのです。

生活介護「兼六民謡会」

今年も生活介護にて、毎年恒例の「兼六民謡会」による民謡鑑賞会が開催されました。

力強い歌声に心が震え、たくさんのパワーをいただきました。また、優美な踊りに魅了され、会場にいた誰もがその美しさに目を奪われていました。日本の伝統が息づく歌と舞いに、温かい一体感に包まれた素晴らしいひとときとなりました。

ご多忙の中、今年も素晴らしい演目を届けてくださいました「兼六民謡会」の皆様、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

また、夜遅くまでスマートフォンやゲームなどの習慣があるお子さんが少し暗めにするというでしょう。

不眠とメラトニン



外来スタッフは、日々お子さんと接しながら、同時に親御さんから質問を受けます。このコーナーでは、日頃親御さんから多く質問されることについて、外来のスタッフが一つずつお答えしていきます。

は、強い光を浴びることでメラトニンの分泌が抑えられ、寝つきが悪くなったり、睡眠の質が低下したりすることがありますので気を付けましょう。

お子さんの健やかな成長には、十分で質の高い睡眠が欠かせません。睡眠中には成長ホルモンの分泌が活発になり、体や脳の発達、記憶の定着、免疫機能の維持などが行われます。

近年では、睡眠障害のあるお子さんに対してメラトニン製剤が使用される場合もあります。生活習慣以外で、メラトニンの分泌が遅れたり少なかったりするお子さんもおられます。投与は、年齢や症状に応じた適切な判断が必要であり、医師の診察と指導のもとで行うことが重要です。

もしお子さんの睡眠について「少し気になるな」と感じることがありましたら、どうぞ気軽に医師さんに相談してみてくださいね。



決 算 状 況

令和7年度 石川療育センター決算状況を下記のとおり報告いたします。

〔資金収支計算書〕

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額
事業収入(1)	810,005
事業支出(2)	767,748
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	42,257
施設整備等収入(4)	0
施設整備等支出(5)	10,082
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△10,082
その他の活動収入(7)	71,003
その他の活動支出(8)	15,206
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	55,797
当期資金収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	87,972
前期末支払資金残高(11)	128,434
当期末支払資金残高(10)+(11)	216,406

〔貸借対照表〕

令和8年3月31日現在

(単位:千円)

借 方		貸 方	
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	249,429	流動資産	77,907
		固定資産	95,846
固定資産	739,320	負債の部合計	173,753
基本財産	402,628		
その他の固定資産	336,692	純 資 産 の 部	
		基本金	65,752
		国庫補助金等特別積立金	171,907
		その他の積立金	187,001
		次期繰越活動収支差額	390,336
		純資産の部合計	814,996
資産の部合計	988,749	負債及び純資産の部合計	988,749